



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 西条市立西条北中学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	西条市立西条北中学校 1年生 227名 教職員 14名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間)
4 目標 (ねらい)	競技との出会いやオリンピック出場までの過程、人との出会い、オリンピックで感じたことなど、オリンピックから直接話を聞くことによって、オリンピックやスポーツへの関心を深め、自己の目標や生き方について深く考えるきっかけとする。
5 取組内容	<p>【事前指導】</p> <p>1 保健体育科の授業において、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義についての学習。</p> <p>2 学級活動において、パラアスリートのドキュメント番組『スポーツ×ヒューマン 弱い自分も受け入れて～パラアスリート 村岡桃佳～』視聴、感想記入。</p> <p>【オリンピックをお迎えして】</p> <p>3 山中柚乃選手による講演。 演題『弱かった私が、強くなれた理由』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技や人との出会い ・目標や目的を明確にして、練習することの大切さ ・東京オリンピックでの経験 ・中学生に向けてのメッセージ 「いつかきつとうまくいく！」 「1歩踏み出す勇気を持つ！」
	 

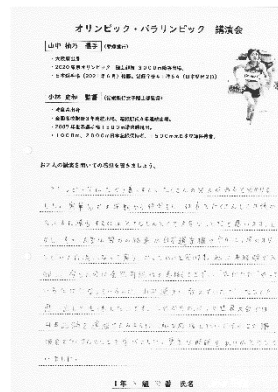
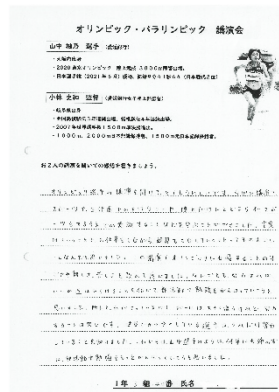
- 4 小林史和監督による講演。
- ・山中選手との出会い
 - ・東京オリンピックまでの道のり
 - ・中学生に向けてのメッセージ



- 5 質疑応答。
- 「オリンピック選手村での生活はどうだったか」
「山中選手と小林監督のけんかとはどのようなものか」
「試合などで緊張したときどうすればよいか」 など



4 感想記入。



5 陸上競技部生徒との交流。(練習の見学)

6 主な成果

何事にも目標を持って練習に取り組みたいと感想に書く生徒が多くみられた。
オリンピックからのメッセージが心に響き、一歩踏み出してみようと勇気をもらった生徒が多くみられた。
地元のオリンピックを身近に感じることができた。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

講師招聘の段階では、県のオリパラ推進室には大変お世話になった。生徒の興味や関心を引くため、東京大会に出場した選手であること、リモートではなく直接お越しいただくこと、愛媛県出身か愛媛県のチームに所属している選手であることにこだわり、人選を進めさせていただいた。

8 主な課題等

本校のような大規模校では難しかったが、講演だけではなく、選手とのふれあいや模範演技等の披露を経験できれば、生徒の心をさらに揺さぶることのできる事業になると感じた。
講演までの、事前授業を計画的に実施することも重要であると感じた。

9 来年度以降の実施予定

県や国の事業として継続していただけるのであれば、継続的に実施していただきたい。本校でも実施を希望したい。ただ、同様の事業を学校だけで進めるのは、講師招聘にかかる人脈や交渉、予算の関係から難しいと感じる。

